



お かつ
畑 田 勝 雄 さん
(大沢・95歳)

「自分でできること
は何でもするよう心掛
けています」と元気の
秘けつを話すのは畑田
勝雄さん。老人クラブ
の集会に自転車が出掛
けるほど今でも足腰が
丈夫です。食事の支度
も自分でこなしますが、
時々近くに住む娘さん
が持つてきてくれる料

理が楽しみとのこと。
北海道生まれの畑田さんは、
終戦後奥さんの故郷山田に移り
住んでからイカ漁やホタテ養殖
などで生計を立て、9人のお子
さんを育てました。養殖業が軌
道に乗るまではさまざまな苦勞
を体験し、その都度漁師仲間た
ちと助け合ってきたそうです。
「周りの皆さんに支えられてき
ました」と感謝の気持ちを口に
する畑田さん。一番の楽しみは、
お盆や正月に遊びに来るお孫さ
んたちと過ごすことだそうです。

ご家庭での火の用心を

8月は松明かしや花火など、火を取り扱う機会が多くなります。ご家庭での火の用心を心掛けましょう。

花火をするときには▶風の強い日は避ける▶
注意書を必ず読む▶燃えやすいものがない場所
を選ぶ▶水バケツを用意する▶子供だけで遊ば
ない——などの注意事項をよく守って楽しく遊
びましょう。

◆問い合わせ 山田消防署 (☎82-3139) へ。



今月の題字
小林 未空ちゃん
(轟木小3年)

田町のわだい

「夕市の会」からの贈り物 涼しい布ぞうりに園児大喜び

夕市の会（松崎美代子代表・会員29人）から轟木児童館に布ぞうりが贈られました。これは、同会が今年1月のそば打ち体験と一緒に作業したのが縁で、同館の園児たちへ楽しかったお礼にと実施されたものです。会員らは6月ごろに布ぞうりの作り方を農業普及員から習い、2日間かけて園児と職員分の15足を製作。7月23日には同館を会員4人が訪れ、子供たちに布ぞうりを手渡しました。雨上がりで蒸し暑かったこの日、布ぞうりを履いた子供たちは「履き心地が涼しい」と大喜び。ホールの中を歩き回り、布ぞうりの感触を楽しんでいました。



履き心地を楽しみながらホールを歩き回る子供たち(上写真) / 松崎代表から子供たち一人一人に布ぞうりが手渡されました



織笠白石地区でソバの種まき 10月の収穫に期待膨らむ

7月21日、織笠白石地区の畑で農作業体験が行われました。同地区の農業者で作る白石中山間地域等直接支払協定組合（越田正一郎組合長）が農業への理解と地元で取れた安心・安全な食材の普及を目的として開催したもので、町内から集まった30人の参加者が広さ15㍍ほどの畑にソバの種約7㍍をまきました。参加者は慣れない姿勢での作業に苦勞しながらも、自らの手で育てたソバの収穫を楽しみにしていました。なお、10月には収穫したソバでそば打ちと試食が行われる予定となっています。



町老人囲碁将棋大会を開催 緊張感漂う熱戦繰り広げる

町老人クラブ連合会（佐々木源衛会長）主催の山田町老人囲碁将棋大会が6月27日、町中央コミュニティセンターで開かれました。大会参加者は、囲碁の部に12人、将棋の部に6人の腕に自信のある愛好家たち。開会式の後、佐々木会長の開始の掛け声とともに大会が幕を開け、選手たちは緊張感の漂う雰囲気の中、熱い対局を繰り広げました。なお、入賞者は以下のとおりです。

▶囲碁の部 優勝 山本誠（田の浜・60）、準優勝 川端信作（長崎・70）、第3位 関初己（長崎・61）
▶将棋の部 優勝 昆野壽雄（織笠・76）、準優勝 白土輝男（織笠・68）、第3位 佐々木繁美（織笠・76）

《敬称略》



老人クラブと保育園児の交流 交通安全を願い七夕を飾る

7月4日、中央老人クラブが山田第二保育所・山田中央保育園の園児と合同で「地域交通安全七夕」作りを行いました。これは、同クラブが子供たちの交通安全を願い数年前から行っていたものを、今年は子供自身にも安全について考えてもらおうと各保育所に参加を呼び掛けたもので、この日参加したのは40人。会場となった役場町民ホールでは、同クラブ会員がこの日のために準備した色とりどりの飾りや短冊を園児らと協力して飾り付け、出来上がった七夕飾りを山田交番と役場に贈ったほか、各保育所に1本ずつ持ち帰りました。園児たちはお礼に各保育所で開かれた七夕祭りに同クラブの会員を招待し、お互いに交流を深めていました。

